

活動目的

心のつながいを忘れない

- ・現地で子どもたちや復興に携わっている方々との継続した交流を通して、つながりを深める。
- ・手作りのおもちゃやカードの制作を継続し、“忘れない”という思いを伝える。

活動成果

復興への歩みと現状

- ・継続した交流が現地の方々の心の支えになっていることを感じられた。
- ・未だに支援が行き届いていない面があることや復興へ向けた新たな課題が明らかになった。

■事前学習

- ・手作りプレゼント作成
- ・「南海トラフで津波から生き延びる方法『津波避難の三大原則』～釜石の奇跡から学ぶ～」視聴
- ・「釜石の“奇跡”～いのちを守る特別授業～」視聴

■事後学習

- ・お礼状作成
- ・メッセージカード作成
- ・報告書作成
- ・部内での報告会
- ・来年度への引継ぎ

訪問施設

幼稚園・保育園

- ・泉第2チェリーこども園
- ・ろりぽっぴ保育園

児童館・他

- ・東四郎丸児童館
- ・那智が丘児童センター
- ・榴岡児童館
- ・新田児童館
- ・海岸公園冒険広場

子育て支援センター

- ・のびすく仙台
- ・のびすく若林

第1回 オンライン交流会
2021年8月23日(月)

毎年、8月と3月に東北に出向き、ボランティア活動を続けて来ました。

しかしながら、コロナの影響で2020年度から現地に出向いてのボランティア活動がストップしたままになっていました。

そこで、オンラインによる交流会を実施することになりました。

第1回は、東北ボランティア活動開始当初から交流のある仙台の冒険あそび場の高橋さん、根本さん、岩渕さんと、ユネスコクラブの学生10名、大学の教職員3名で交流会を行いました。

- 自然には勝てない！！
- 遊びから、防災につながっている。
- 「ひろがる桜プロジェクト」がコミュニティ広場に。
- 厄介なのは、情報の信ぴょう性…。どの情報が正しいのかわからない。
- ボランティア活動は、自分がしたいことをやる。強制されてやるものではない。
- 私たちは、子どもに関係することをしたい。それが、高齢者にも通じることを知った…。



第2回 オンライン交流会
2021年12月19日(日)

今回は、ユネスコクラブと特定非営利活動法人 ファミリーサポートネットワーク理事の 三浦 三恵子 様、特定非営利活動法人 にじいろクレヨン代表の 柴田 滋紀 様とユネスコクラブの学生21名による交流会を行いました。

震災を経験して、人とのつながりの大切さや被災者の言動を受け入れることなど熱心な意見交換が行われました。

話し合いを通じて、自分自身の防災意識の高まり、将来子どもたちへの適切な防災教育につなげられるようにしていきたいと考えています。

今後も、定期的に継続して学びを深めて行く予定です。

